

全鉄連流通動態調査結果表 2019年10月分

(2019. 11. 21)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		9月実績	前月比	10月実績	前月比	10月実績	前月比	10月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	7,363	104.0%	45,831	98.8%	46,455	100.8%	6,739	91.5%	
	大阪	2,597	87.4%	18,005	107.7%	17,788	104.1%	2,814	108.4%	
	愛知	5,600	100.2%	7,864	109.9%	7,946	111.2%	5,518	98.5%	
	計	15,560	99.5%	71,700	102.1%	72,189	102.7%	15,071	96.9%	
形鋼	山形鋼	東京	18,492	100.7%	8,920	105.3%	9,201	110.2%	18,211	98.5%
		大阪	19,503	94.5%	9,300	110.7%	9,609	100.8%	19,194	98.4%
		愛知	13,196	98.8%	6,923	105.0%	7,112	105.3%	13,007	98.6%
		計	51,191	97.8%	25,143	107.1%	25,922	105.2%	50,412	98.5%
	溝形鋼	東京	15,567	101.5%	6,106	92.5%	6,510	102.2%	15,163	97.4%
		大阪	11,654	99.4%	5,532	96.1%	6,002	103.0%	11,184	96.0%
		愛知	8,456	96.1%	5,176	106.0%	5,279	101.1%	8,353	98.8%
		計	35,677	99.5%	16,814	97.5%	17,791	102.1%	34,700	97.3%
	H形鋼	東京	33,591	95.1%	17,468	100.8%	19,093	100.1%	31,966	95.2%
		大阪	42,939	95.3%	26,298	102.3%	27,070	97.3%	42,167	98.2%
		愛知	22,966	93.1%	12,876	109.0%	14,228	105.3%	21,614	94.1%
		計	99,496	94.7%	56,642	103.3%	60,391	100.0%	95,747	96.2%
合 計		186,364	96.4%	98,599	103.2%	104,104	101.6%	180,859	97.0%	
コ ラ ム	東京	9,507	95.0%	3,229	129.4%	3,546	118.2%	9,190	96.7%	
	大阪	12,464	105.1%	4,792	91.1%	4,487	96.3%	12,769	102.4%	
	愛知	3,567	102.4%	1,043	67.6%	1,234	84.7%	3,376	94.6%	
	計	25,538	100.7%	9,064	97.5%	9,267	101.6%	25,335	99.2%	
軽量C形鋼	東京	2,996	91.2%	2,804	134.5%	2,754	116.1%	3,046	101.7%	
	大阪	2,993	90.2%	1,825	124.8%	1,825	102.1%	2,993	100.0%	
	愛知	2,840	93.5%	1,619	115.9%	1,867	117.1%	2,592	91.3%	
	計	8,829	91.6%	6,248	126.4%	6,446	112.0%	8,631	97.8%	
総 計		236,291	96.9%	185,611	103.1%	192,006	102.3%	229,896	97.3%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京30 大阪20 愛知16 合計66社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。